



平成27年6月25日

こうがいれつ
岡大病院に口唇裂・口蓋裂総合治療センター開設
口唇裂・口蓋裂患者に対する集学的一貫治療が可能に

岡山大学病院は5月1日、口唇裂・口蓋裂に対する総合一貫治療を行う「口唇裂・口蓋裂総合治療センター」を新たに開設しました。同センターは、矯正歯科や口腔外科の歯科領域のみならず、形成外科、耳鼻咽喉科、総合リハビリテーション科などとの連携による集学的治療を行っていきます。さらに、歯科系、小児科系の診療科に加え、小児頭蓋顔面形成センター、産科婦人科、精神科神経科、遺伝カウンセリング外来など診療科の垣根を超えた組織で構成され、「医科・歯科を有する大学病院のメリットを生かした一貫した治療」を進めていきます。

<概要>

口唇裂・口蓋裂は、わが国において500～600人の出生に1人の割合で起こる先天異常疾患です。顎顔面の形態異常のみならず、哺乳障害、呼吸障害を伴っていることも少なくないことから、生後直ちに多職種が連携して口腔機能管理、手術前の顎発育コントロール等を必要とします。本治療には、出産直後から成人するまで、口、歯、鼻、耳の専門医が、長期間にわたり一貫した総合治療が必要であり、患者の発育に応じて適切な時期に適切な専門的治療を行うことが大切となってきますが、これまで多くの場合、各施設において診療科毎に行われていました。

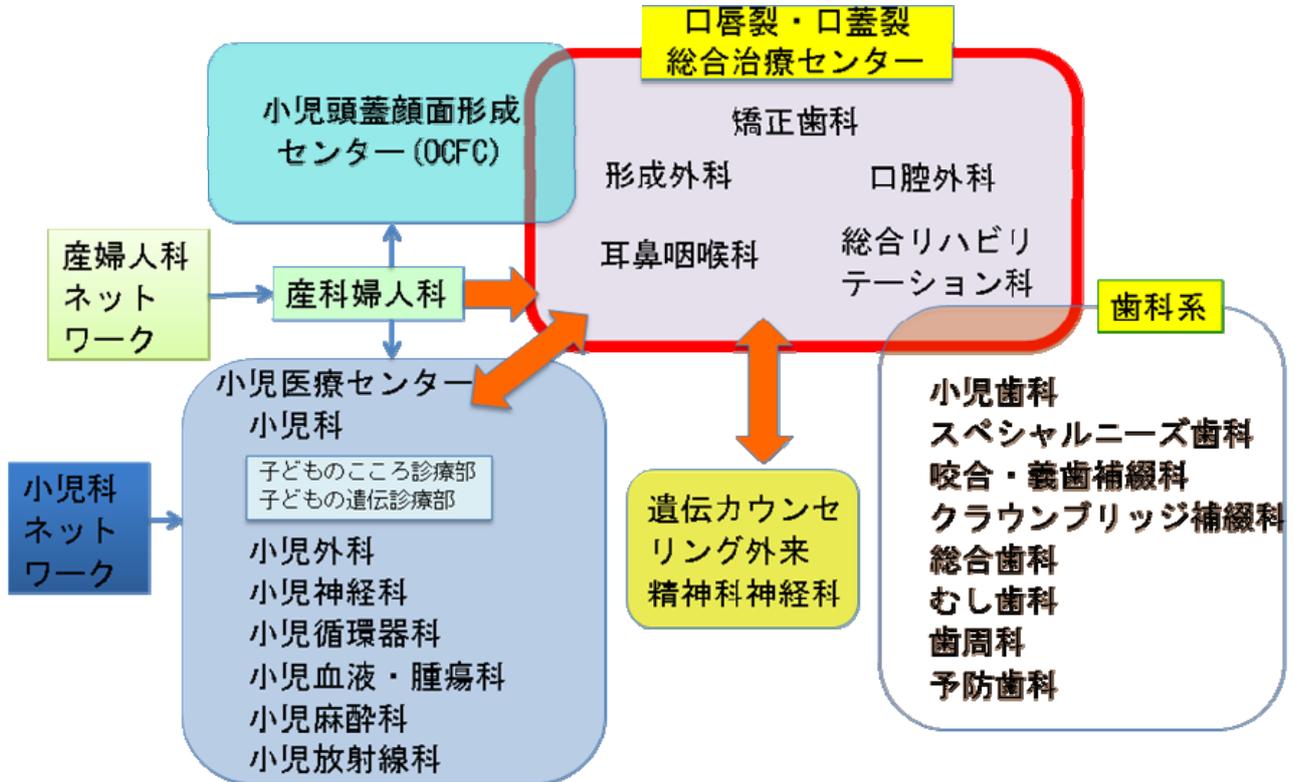
同センターは、患者が高度で総合的な治療を1施設で継続して受けられる体制を目指し、これまで口唇裂・口蓋裂の診療を行ってきた専門医が医療連携を強化するために設立。医科・歯科を有する大学病院のメリットを生かし、口唇裂・口蓋裂専門医療従事者が密に連携することにより、口唇裂・口蓋裂患者に関する診療情報の共有化を図り、適切なチーム治療を行うことが可能となります。

さらに、出生前診断で口唇裂・口蓋裂が疑われた場合、出生前に両親に口唇裂・口蓋裂の治療についての説明や母親相談を実施。本疾患への理解を深めることで、生まれてくる子どもに対する両親の不安を軽減していきます。



PRESS RELEASE

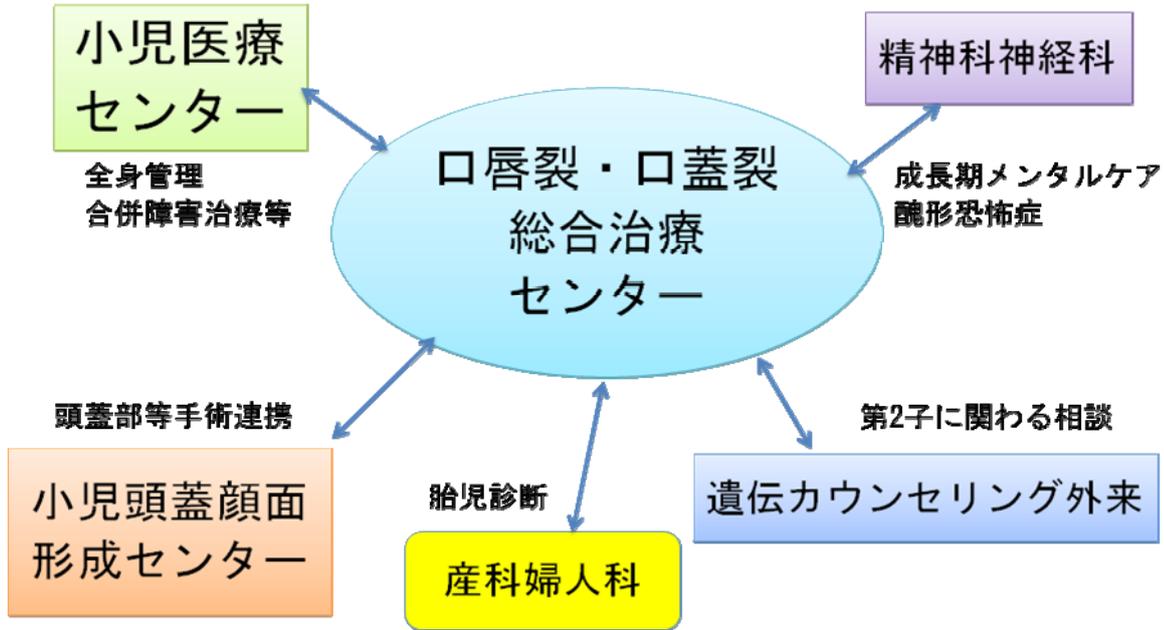
添付資料 1) 口唇裂・口蓋裂総合治療センター構成、連携図



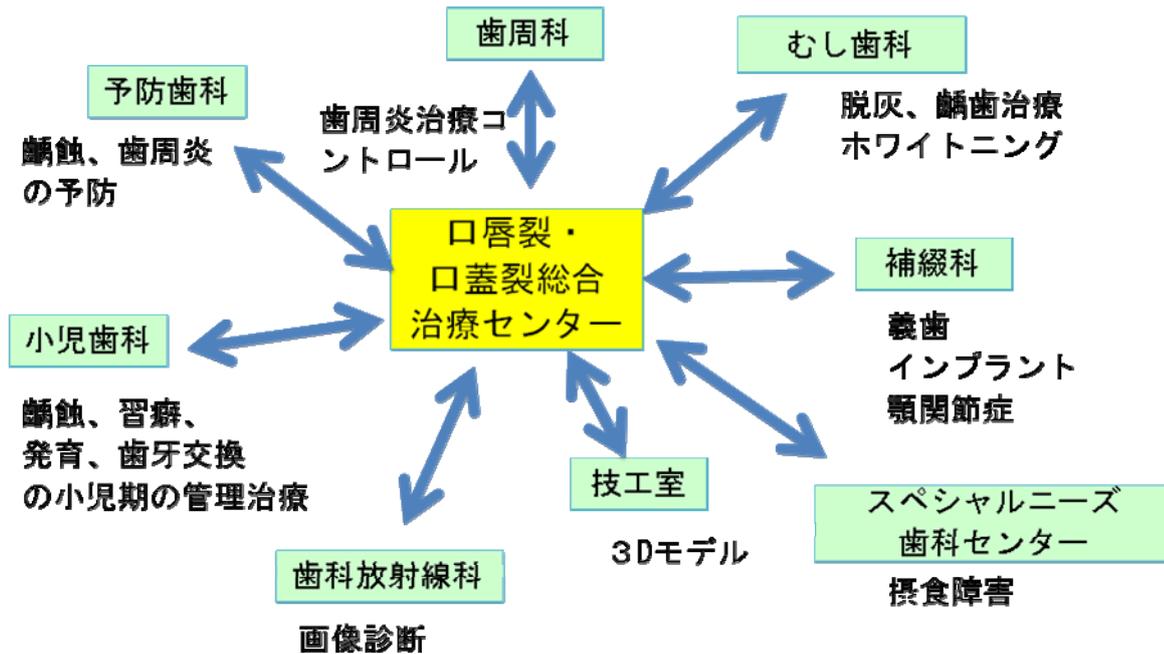


PRESS RELEASE

添付資料 2-1) 医科主要診療科との集学的連携



添付資料 2-2) 歯科主要診療科との集学的連携





PRESS RELEASE

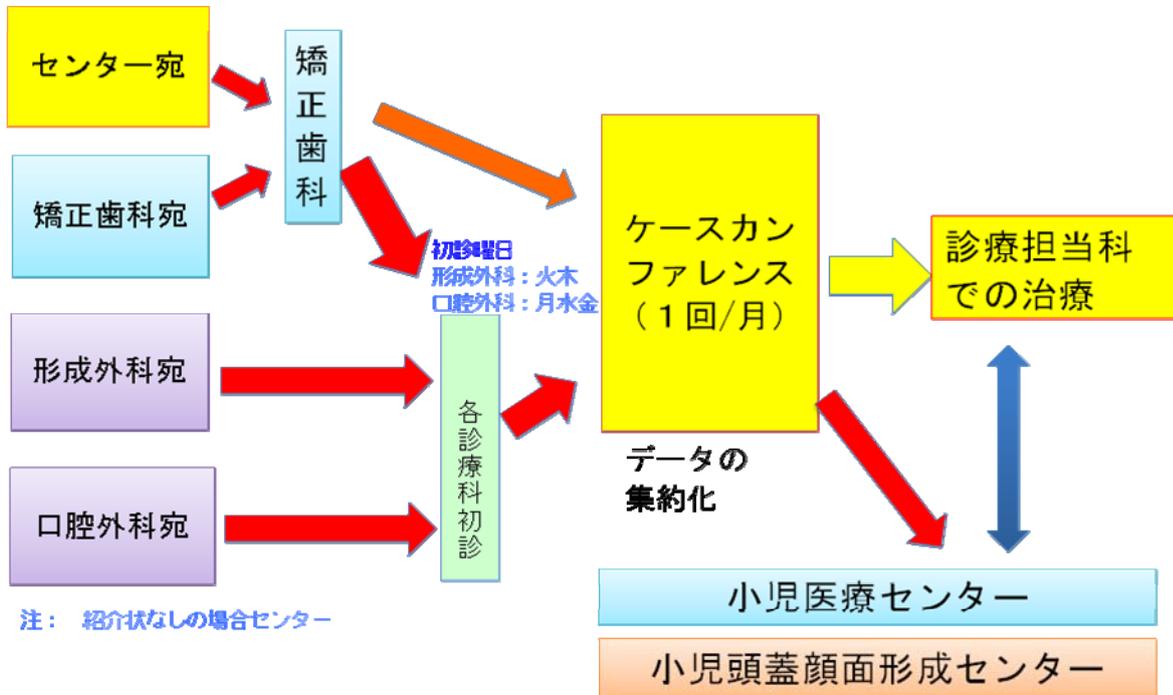
添付資料 3) 口唇裂・口蓋裂を有する患者の治療全体の流れ





PRESS RELEASE

添付資料 4) センター初診患者の流れ



<お問い合わせ>

岡山大学病院 矯正歯科

教授 上岡 寛

(電話番号) 086-235-6690

(FAX番号) 086-235-6694